

東海地震発生！その時に備えて

蒲郡市を含む東海地方では、100〜150年の周期で、マグニチュード8クラスの大地震が起きています。前回の安政東海地震が発生してから、今年で153年。大地震は、いつ起きてもおかしくありません。今号では、いざという時のために、地震に備えた準備についてご紹介します。



資料：愛知県「防災・減災お役立ちガイド」より

準備は万全ですか？

地震は、いつ、どこで発生するか分からないため、普段からの備えや心がけが重要となります。そして、いざ地震が起こった時、この準備が生死を分けることもあります。また、過去の大規模地震では、建物に特別な被害がないにもかかわらず、家具の転倒やガラス類の散乱によって逃げ遅れたり、室内でケガを負った方が多数いました。

もし、今夜、私たちのまちで、地震が発生すると仮定したら、皆さんの準備は万全といえるでしょうか。

この機会に今一度チェックしてみませんか。

①非常持ち出し品の用意

3日分以上の飲料水・乾パン・缶詰などの食料品や救急医療品・ラジオ・懐中電灯・衣類など、

まとめて準備しておきましょう。

②地域の連携を大切に

いざという時に頼りになるのは、隣近所の皆さんの協力です。日頃から近所の人たちと話し合いをしておきましょう。

③災害伝言ダイヤル「171」を覚えておきましょう

災害時は一般の電話がつながりにくくなります。安否の確認などには、NTTの災害伝言ダイヤル「171」を活用しましょう。毎月1日には体験利用ができます。

④家具は安全な場所に配置

人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて、寝室に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置しましょう。

⑤通路や出入り口には荷物を置かない

いざというときの避難路を確保するために、玄関・通路や出入り口にはできるだけ荷物を